

「6/29 舞台出演のお誘い」

柳沢綾子さん主催(私の短大時代の友人)のバレエコンサートが開催されます。スタジオとしても今後発表の場を持ちたいと考えていますが、まずは舞台慣れしてゆくための「機会」として捉えてみては如何でしょう。出演者のレベルは問いません。リハーサルと本番に参加できる「やる気のある方」を募集いたします(*^*)

日時:6/29(日)江東区文化センター(地下鉄東西線東陽町駅下車徒歩5分程度)
ソロ作品・複数名作品でも可能。

希望者数に応じ、バレエ作品から抜粋して短編にまとめあげても良いな、と考えております。なお、舞台最後に出演者全員のフィナーレが有ります。

☆出演料金等について(主催者に納める分)

Va1 曲 2分まで¥12000 (複数作品で踊る場合でも、一人当たりの最低料金です) 30秒毎に+¥3000

パドゥ 8分まで¥30000 1分毎に+¥5000

(重要)出演が決まった後一度納入された参加費については、いかなる場合も返金は出来ません。※衣装代は別途集金します。

☆リハーサルについて

3月よりスタート。木曜日のクラス後(20:15~)や、土曜日の作品クラス後に1~2時間程度を確保予定。その他祝日 GW や、希望によっては日曜午前中等。出演者の方は作品指導料金として、舞台が終わるまでの期間毎月¥5000+リハーサルスタジオ使用料(出演者人数分で等分清算)を集金します。

※出演者は必ず通常のクラスに参加して下さい。リハーサルのみの参加は出来ません。

2/25までに参加の可否の提出を必ずお願いします。(期日までにスタジオに来られない場合のみ、メールでの返事を許可します)

-----切り取り-----

今回、舞台に出演します

次回出てみたいです

お名前 _____

「舞台に関するツレヅレ～ “舞台に出る意味”」

今の時代、どんなきっかけからバレエを習いだすのでしょうか。健康面やスタイル保持等から習いだす人も多いですが、私が子供の頃は、バレエの舞台を見て、それに憧れてから始めたものでした。

「いつか、あの作品を踊れるようになつたら良いな…」でも当時習っていた奈良の教室での発表会は、決まった作品がある年齢ごとに踊っていたため、踊りたい作品が有ってもその年齢に達しないと踊らせてもらえませんでした。

上京してから入所した教室では、最初の頃群舞出演が殆ど。けれど一緒に踊る人はコンクールの入賞者や、同じ年でも既にグラン・パ・ド・ドゥを沢山踊っている人ばかり。そのためとても厳しい指導を受けました。当時の教室の先生はダンサーを沢山動かすことが好きな方だったのでバランシンのような作品が多く、テクニカルを磨かないと踊れないものばかり。そして古典の作品を上演する場合でも、「教室オリジナル」的な振付が殆どでした。

「～版の振付の“白鳥”とかやらないのかな…」当時はそんな生意気なことも思つたりしたけれど、今思うとスタジオ生を向上させるために振付を考えるのは、主宰の先生にとってはごく自然なこと。数年経ってバリエーションを踊らせてもらえるようになってからようやく「あ、これは〇〇版の振りだ」と言うものが回つてくるようになりました。

自分に役が巡ってくるまで待つと言うのは今の時代中々そぐわないのかもしれませんが「機会がある」ことは、実はそんなに長い期間続くものではないのだと思うことがあります。1月に「アンナ・カレーニナ」と言うとても大きな舞台に出演しましたが、「踊る」だけで舞台に出るのではない大切さを感じ、まだ舞台に出ておかないと自分を磨けないと。こういう機会も活用次第ですし、いずれまた近いうちにスタジオ単独でも行える状態に持つて行きたいと思っています。ただ、スタジオ生の方には「まずどんなことでも機会は知らせることに意味がある」そう思いお知らせをしています。ぜひお返事お待ちしています(^-^)

